

# 災害対策机上訓練

R6年10月10日  
ケアプランセンターお元気リボン  
災害支援ケアマネジャー  
朝長 由美子



# 災害対策机上訓練とは、

地震など大規模な災害が発生した状況をシミュレーションする訓練です。



# 机上訓練の目的

- ①各自が災害への備えができ、対応できるようにする。
- ②災害対応マニュアルやBCPの検証と地域資源の再確認ができるようになる。



机上訓練の成果が、平常時の見守り体制に反映される。  
それぞれが災害時に適切な避難行動支援をとり、  
利用者の生活を守ることができるようになる。



# 机上訓練の流れ

フェーズ（段階）に沿っての行動訓練

発災直後から10時間 → フェーズⅠ

発災1日～3日 → フェーズⅡ

発災4日～1か月 → フェーズⅢ

発災6か月～1年 → フェーズⅣ

# グループワークの進め方

グループ内で自己紹介をしましょう!(^^)!

管理者兼発表者、書記を1名ずつ決めて  
ください



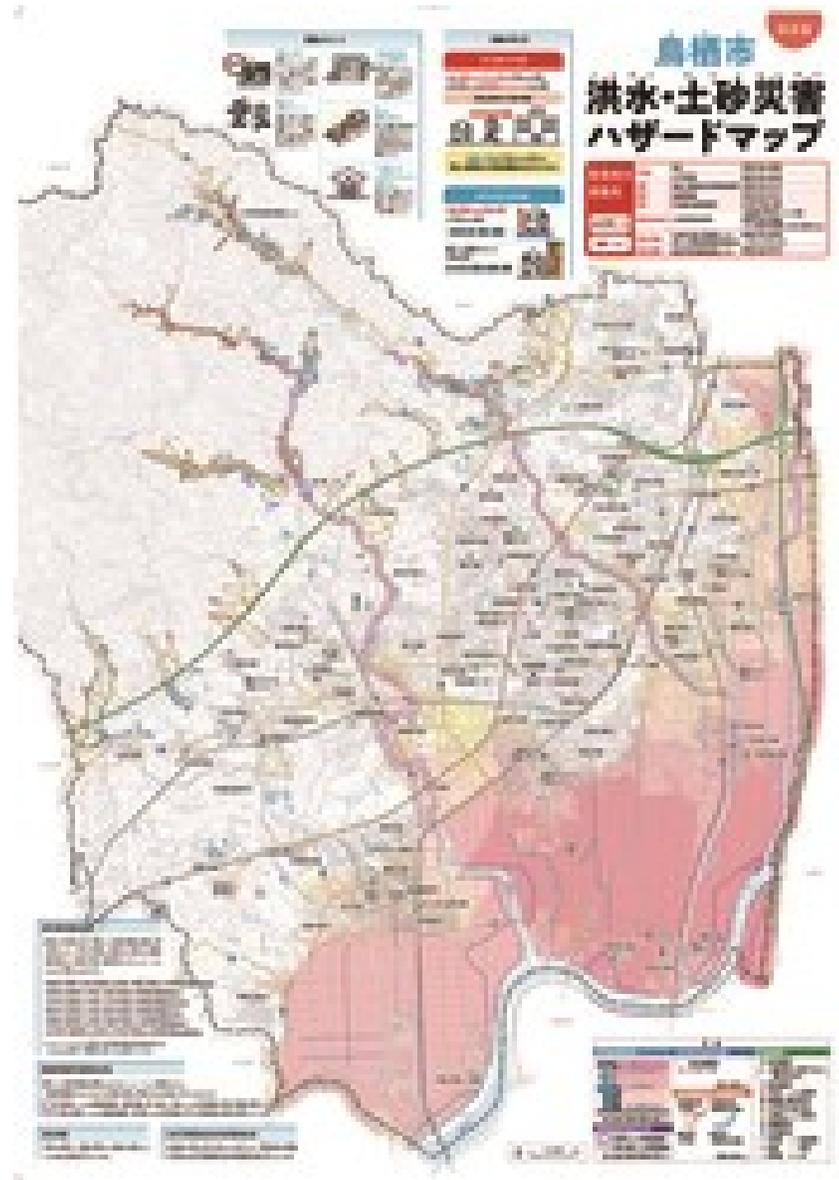
## 地域の設定

佐賀県 鳥栖市

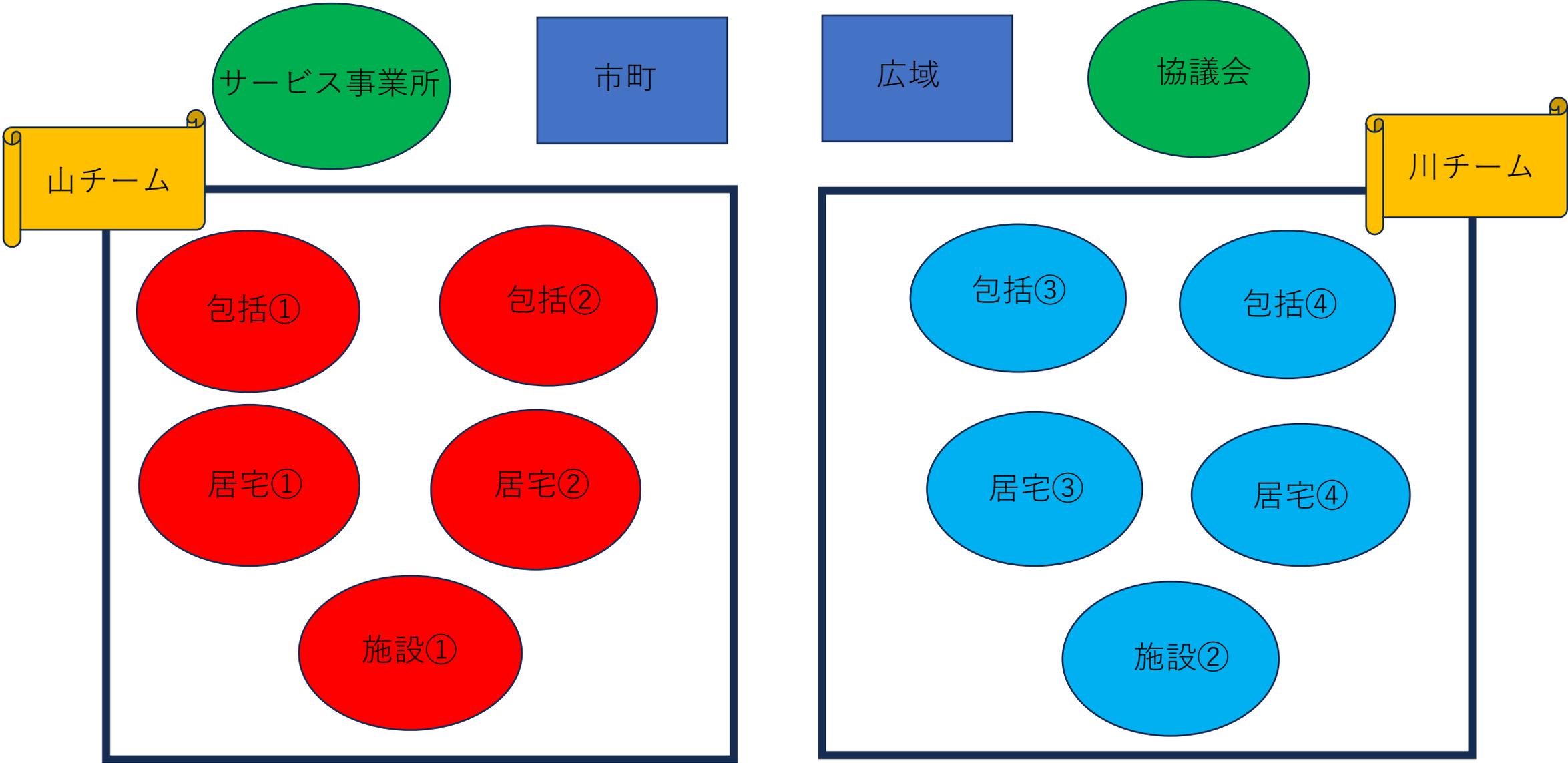
人口約 7 万 4 0 0 0 人

高齢化率 2 4 . 6 %

# 鳥栖市ハザードマップ



# スクリーン



# 始める前に

## <使用するもの>

机上訓練フェーズシート（各個人 A 4 サイズ1枚 + グループに  
A 3 サイズ 1 枚）

質問、依頼（要望）シート（グループに 1 0 枚ずつ）  
ふせん

## <注意事項>

途中休憩はありません

携帯の使用可、途中退席可能

フェーズⅡ

訓練スタート!!

エリアメール速報



# 緊急地震速報!! 震度7 (直下型)



7月17日 (水曜日)

時間 13時頃

天候 晴れ

気温 38℃



<フェーズⅠ（発災直後～10時間）  
のライフラインの状況>

電気：停電

ガス：供給停止

水：断水

通信：携帯の**SNS**使用可、通話は不可

交通：信号機可能不可、主要道路は渋滞

その他：がけ崩れ発生のため高速道路通行止め

# 机上訓練フェーズシートの記入方法

## 机上訓練フェーズシート

組織または事業所名 [ ]				
	フェーズⅠ (発災直後～10時間)	フェーズⅡ (発災1日～3日)	フェーズⅢ (発災4日～1ヶ月)	フェーズⅣ (1ヶ月～)
目 標	組織の役割、使命 しなければいけない こと	例えば →	職員の安否確認	
阻 害 因 子	支障や障害になるもの	→	電話が繋がらない	
促 進 因 子	目標を助けるもの	→	グループラインで連絡が取れる 毎日職員間のスケジュール管理をしている	

おさらい

# 個人ワークシート記入例

**机上訓練フェーズシート**

組織または事業所名 [ ]

	フェーズⅠ (発災直後～10時間)	フェーズⅡ (発災1日～3日)	フェーズⅢ (発災4日～1ヶ月)	フェーズⅣ (1ヶ月～)
目 標	職員の 安全確認			
阻 害 因 子	電話が つからない			
促 進 因 子	グループラインで 連絡がとれる			

# 机上訓練フェーズシートへの記入方法

## 机上訓練フェーズシート

組織または事業所名 [ ]				
	フェーズⅠ (発災直後～10時間)	フェーズⅡ (発災1日～3日)	フェーズⅢ (発災4日～1ヶ月)	フェーズⅣ (1ヶ月～)
目 標	職員、利用者の安否 確認  備蓄品の使用			
阻 害 因 子	通信手段の制限による 安否確認がしづらい 電話が繋がらない			
促 進 因 子	グループラインによる安否 確認が可能  職員間のスケジュールが把握 できる  利用者安否確認一覧表がある			

## ここから

<フェーズⅡ（1日～3日）の  
ライフラインの状況>

電気：停電

ガス：供給停止

水：断水

通信：携帯のSNS、通話使用可

交通：信号機機能不可、主要道路は渋滞

その他：避難所は大混乱、車中泊多数

フェーズシートを使いましょう  
(フェーズⅡ 1日～3日)

- ①あなたの組織にはどんな役割、使命がありますか？ (目標)
- ②その為にどんな支障がありますか？  
(阻害因子)
- ③残されたもの、使えるものはありますか？  
バックアップしてくれるものはありますか？  
(促進因子)

# 机上訓練フェーズシートの記入方法

## 机上訓練フェーズシート

組織または事業所名 [ ]				
	フェーズⅠ (発災直後～10時間)	フェーズⅡ (発災1日～3日)	フェーズⅢ (発災4日～1ヶ月)	フェーズⅣ (1ヶ月～)
目 標		組織の役割、使命 しなければいけない こと		
阻 害 因 子		支障や障害になるもの		
促 進 因 子		目標を助けるもの		

# グループワーク①



1

①各個人で考えたものをふせんに書き出し個人シートで整理する。

2

②グループワークを行い、同じものは整理する。

3

③最後にグループでA3シートにまとめて記入する。

みなさんはどんな行動  
をとりますか？

ここから考えていきましょう！！



# グループワーク②

BCPの検証

< フェーズⅡ > 1日～3日

では！実際に動いてみましょう！！

- ①まず、何から始めますか？
- ②どこで、誰が、何を、誰の（なんの）ために  
どのように行いますか？

# 依頼、質問（要望）シート

**【事務局注】**

本シートの使用目的：平常時のケアマネジメントに反映させるため、どのフェーズでどのような依頼・質問が発生するか記録する。  
本シートの使用方法：グループからグループへの質問・依頼事項が発生した際に記入して、相手のグループに渡してください  
（本シートがファクシミリやメール、電話の代わりになります）  
本シートを受け取ったグループは本シートに記入して戻して下さい。

依頼・質問（要望）シート（事業所名： _____）	
記入日時 20 ____年 ____月 ____日（ ）：フェーズ ____ <small>（どのフェーズで発生した依頼・質問かわかるよう明記しておく）</small>	
【発信元】	
【送信先】	
【依頼・質問（要望）内容】	
	
【返信】	

※本訓練終了後は持ち帰らず、机に置いておいてください。

やっと3日が経ちました。

# 調整会議を開きましょう!!



各事業所の管理者が集まり、  
情報の整理、**今後の支援の方向性**を一度まとめることが目的。

**各グループの管理者さん、  
調整会議にご参加ください**



## < フェーズⅢ 4日～1か月 >

仮設住宅：できあがっていないが、行政で建設準備が始まる

避難所：数は減っている。全国から支援が始まる

ボランティアセンターでのボランティア受け入れ開始

行政機能がほぼ回復（通知続出、認定調査、罹災証明等）



## < フェーズⅣ 6か月～1年 >

仮設住宅はでき上がっている  
各組織とも設備類は復旧





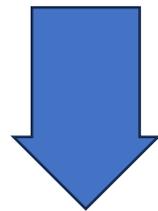
# グループワーク③

BCPの検証

あの日にもどれるのなら、、、

フェーズ0 発災2日前～当日

- ①まず、何からはじめますか？
- ②どこで、誰が、何を、誰の（なんの）ためにどのように行いますか？



平時の備え

# 支援者に求められる力とは、

フェーズⅠ（発災直後～10時間） 観る力、聴く力、感じる力

フェーズⅡ（発災1～3日） 発見する力、気づく力、寄り添う力

フェーズⅢ（発災4日～1か月） つなぐ力、地域で支える力

# 災害は平等、被害は不平等

社会的弱者がもっとも被害を受ける

地域包括ケアシステムは、災害時にも大いに活かされるということ。

つまり、有事に強くそして迅速に対応できうる地域は地域包括ケアシステムが構築されている地域でもある。

**災害適応型**地域包括ケアシステムの構築をめざす。

**疑問① 災害発生時に福祉避難所を利用したいときはどうすればいいですか？**

**疑問② 指定避難症所の受け入れ態勢についてですが、避難所にはどのような物品が準備されていますか？**

**疑問③ この机上訓練はBCPに位置づけしている訓練とみなすことは  
できますか？**

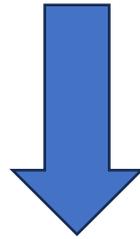
# 今後の災害支援ケアマネジャーとしての活動

- ①事業所間の連携のための机上訓練として、引き続きフェーズⅡ、フェーズⅢへと展開の継続
- ②佐賀県内の他地区の災害支援ケアマネジャーと連携をとり、佐賀県全体でのネットワークの強化



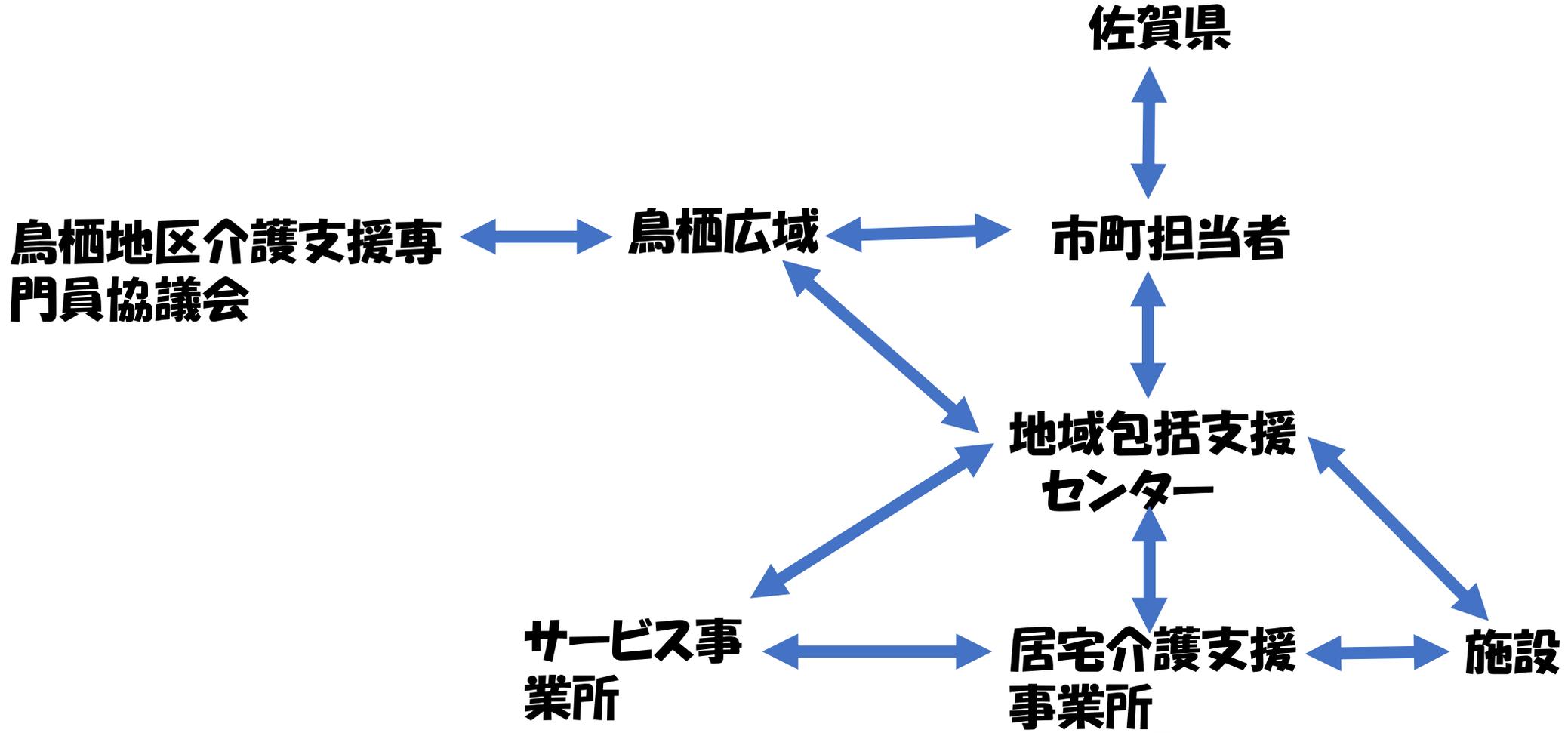
# 鳥栖地区での取り組みとして

各事業所間の協力体制の強化のために協議会を通し、市町、広域、包括支援センター、居宅介護支援事業所、施設、サービス事業所が同時に集まる机上訓練を定期的に行うことで、事業所間の連携や協力体制の強化ができるように模擬訓練を開催していく



**私たち災害支援ケアマネジャーがサポートする**

# <具体的なイメージ>



連携がしやすいように私たち災害支援ケアマネジャーがサポートする

# 参考文献

災害対応マニュアル（第5版）

第4, 6回災害支援ケアマネジャー養成研修資料



ご清聴ありがとうございました

